

# 星占いの考え方

占い師：尾瀬 泉

## 私にとって最も適した星の配置になった瞬間に、私が産まれる

私たちは生まれる前に「こうありたい」「こうやって生きていきたい」というものをひとりひとり持っており、それを神様と申し合わせます。そして、その状態と一致する星の配置になった瞬間にこの世に生まれて来ます。例えば、「元気に生きていく」ことを神様と決めたら、元気に生きていく星の配置になった瞬間に生まれますし、「コツコツ努力する」ことを神様と決めたら、コツコツ努力する星の配置になった瞬間に生まれます。

## ホロスコープが示す状態は、私にとって最も自然で、生きやすい状態、神様も認めた状態 なのです。

しかし、生まれた直後から母親（や周りの人）の教育が始まり、（母親の価値観や一般論などで）私たちはどんどん自分が望んでいた状態、自然で幸せな状態からズレて行ってしまいます。

星占いは、ズレた状態を元に戻すための時間 です。どんな問題点も、何となくの生きにくさも、生まれる前に望んでいた本来の状態とズレているので起こります（身体が歪んで肩が凝るのと一緒です）。

## ホロスコープは私の個性。私にしかできないことが書かれている

同じホロスコープを持った人は他には存在しません。私のホロスコープに書かれていることは私にしかできないのです。

ホロスコープには私しかできないこと、私が果たすべき役割（他の人にはできないこと＝私の存在意義）が書かれています。

## 幸せになることはとても大切

ホロスコープは私にとって最も自然で、生きやすい、幸せな状態が書かれています。また同時に、ホロスコープには私が果たすべき役割（私の存在意義）が書かれています。従って、

## 私が幸せな状態なら、世の中に対してきちんと役割を果たしている と言えます。

幸せになることは大切です。幸せではないのなら、どんなに頑張っても世の中に対して役割を果たしているとは言えません。しかし、現状や環境をすぐに変えることはできませんから、現状に即してホロスコープが示す、より自然な状態、本来の役割を果たせる自分に近づくための具体的な方法を探っていく作業が星占いです。

## 幸せは天から降ってこない

私たちは幸せになりたくて占いをします。今よりも幸せになりたいのなら、今とは別の行動をしなければなりません。しかし闇雲に努力をするのではなく、ホロスコープに沿って努力をすれば、より自然に求めていることに到達することができます。たいていの場合、求めていることとホロスコープは一致しています。努力の方向、やり方、表面上の目指していることが合っているのかを確認する作業が星占いです。

## できないことはやってはいけない

私たちは苦手なことを克服しようと努力しますが、ホロスコープに合っていない（自分にとって不自然）から苦手なのです。

私は私のやらなければならないこと（ホロスコープに書かれていること＝他の人にはできないこと）をやらなければなりません。

苦手なことをいくら努力しても得意な人には勝てません。自分が得意なこと（＝私が世の中で果たすべきこと）をきちんと努力すれば、世の中の役にも立ちますし、自分も大きな幸せを得ることができます。

## みんなが役割を担っている 役割分担でこの世の中は成り立っている

私たちは母親の教育や、周囲から「優しい人は良い人だ」「積極的な人は良い人だ」というように「常識」や「一般論」を擦り込まれています。しかし、すべての人が優しければ企業は発展しませんし、すべての人が積極的なら争いが起きてしまいます。みんなそれぞれ役割を持ち、それを全うすることで世の中が成り立っています。

ホロスコープで良い人、悪い人はいません。それは生まれる前から自分が望んだ、神様から託された役割なのです。

## 言語システムの違いを利用しよう

12宮（星座）の一行にはいくつかの違う単語が並んでいますが、それ（からイメージできること）はどれも同じ力です。ネガティブな単語で思い当たるのなら、ポジティブな単語で表せるような力に変えていきましょう。日本語の分類で考えずに、ホロスコープ言語の分類で「なぜなのか」、ことの本質を再考してみましょう。

日本語の分類		(例)
音楽	スポーツ	
ライブでノリノリ	サッカー観戦	みんなでワイワイ
クラシックの演奏会	ヨガ・マラソン	一人で黙々と・ゆったり

星占い語の分類